

平成 28 年度幼児教育の推進体制構築事業成果報告書（概要）

1. 調査研究テーマ

- (ア) 「幼児教育アドバイザー」の育成・配置に関する調査研究
- (ウ) 幼児教育の質の向上を図るために必要な推進体制に関する調査研究

2. 平成 28 年度に実施した主な調査研究内容

(1) アドバイザー訪問施設数（平成 29 年 3 月 31 日時点）：

幼稚園			うち、幼稚園型 認定こども園			幼保連携型 認定こども園			保育所		うち、保育所型 認定こども園		地方裁量型 認定こども園		小学校
10/10 園			0/0 園			0/0 園			22/22 所		0/0 園		0/0 園		0/17 校
国	公	私	国	公	私	国	公	私	公	私	公	私	公	私	
0/0 園	6/6 園	4/4 園	0/0 園	0/0 園	0/0 園	0/0 園	0/0 園	0/0 園	17/17 所	5/5 所	0/0 園	0/0 園	0/0 園	0/0 園	

※アドバイザー配置人数：4人

※アドバイザーの最終経歴：公立園長経験者 2 名
公立保育所長経験者 1 名
子ども家庭課（行政）経験者 1 名

(2) センターの設置：

- ・設置年度：設置済み（平成 28 年 8 月）
- ・設置形態：幼児教育推進室として設置

(3) その他幼児教育の質の向上を図るために必要な推進体制に関する調査研究

- ・幼児教育アドバイザーの育成（研修会、視察）
- ・調査研究実行委員会の開催

3. 成果

(1) アウトプット

- ・ 幼児教育アドバイザーが市内の幼稚園 10 園及び保育所 22 所すべてを訪問して、各園・所の抱える課題等の調査を行った。
- ・ 訪問調査を踏まえて、関係各機関及び有識者による調査研究実行委員会を実施し、課題を共有し、次年度の方向付けを行った。

(2) アウトカム

- ・ 幼保小連携・接続については、年齢を 5 才児にしぼり「アプローチカリキュラム」の作成をはじめに取り組むこととした。「アプローチカリキュラム」の作成にあたって、幼児教育アドバイザーが中心となり、小学校区毎に、小学校教員と幼保教職員が情報交換する場を設定することで、これまでの課題であった幼保小の連携・接続が大きく前進するきっかけとなった。

4. 上記を含めた、平成 29 年度の実施計画

- ・職員対象スキルアップ研修会の企画、実施
（幼児教育アドバイザー又は講師を招いての研修会）
- ・前年度の研究成果を基にした指導方法についての協議
- ・幼児教育アドバイザーによる各所・園毎の課題解決のための訪問指導
- ・各園等の課題解決に向けた取組の評価
- ・気仙沼市として 5 歳児を対象としたアプローチプログラムの開発